

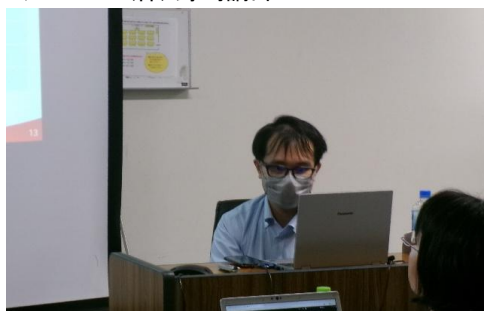
「第57回ミニセミナー」の報告

開催日時 : 7月28日(火) 16:00~18:00

開催会場 : 大阪市立総合生涯学習センター 第4研修室

- ・「第57回会員無料ミニセミナー」には会場14名、リモート9名 計23名の方に参加いただきました。
- ・レンゴー(株)野崎様には「機能性段ボールの進化と防災段ボール開発の取組み」のテーマで、機能性段ボールとして求められる各機能性の説明の後、レンゴー(株)の様々な機能性段ボールについて紹介いただきました。レンゴー(株)の防災段ボールは日本防災協会の防災製品認定を取得した燃え広がりにくい機能性段ボールです。特徴として、優れた防災性、軽量・高強度、優れた加工性、防災剤は燃えても有害物質の出ないリン窒素系化合物で環境・安全性に配慮されています。防災機能は、段ボール表ライナーに防災剤とOPニスをコートする方法で機能付与するが、防災性能発現には防災剤のライナー表面保持と塗膜均一性と防災剤の高粘度管理が重要であり、防災段ボール開発の苦労話をご紹介頂きました。
- ・タイガー魔法瓶(株)・南村様には「100年培った魔法瓶技術を活用したステンレス密封真空断熱パネル」のテーマで、ステンレス加工・溶着技術を用いた長寿命、不燃、高断熱材を開発、従来の樹脂フィルム・熱溶着品と比べて断熱性、耐熱性、安全性に優れ、発泡ウレタンの約1/10の薄さで同等の断熱効果を有し、環境省「カーボンニュートラル技術開発・実証事業」に採択。大阪・関西万博会期中は食材の保冷輸送、保管ボックスに採用。長時間温度を維持できるため、通常のトラックで冷凍・冷蔵品輸送や異なる温度帯の荷物を同時に運ぶ「混載輸送」が可能になり、CO2削減や人手不足問題の解決にも繋がる。万博後は輸送、建築、医療分野で真空断熱材が活躍する社会実証の拡大をイメージ。また、真空断熱技術についてはJAXAの小型回収カプセル(真空二重断熱容器)の開発を担当。長時間の温度維持や再利用可能な容器を開発、実験や医療検体輸送に活用されている。以降、商用利用フェーズに移り、地球と宇宙の物資輸送に活躍している。真空断熱技術は宇宙関連以外にも飲食・調理関連はもちろん、福祉・医療関連など様々な分野で応用されていることをご説明いただきました。
- ・2テーマとも参加者(会場、Web)から活発な質問が飛び交い、セミナーは大いに盛り上がりました。

◆レンゴー(株) 野崎講師



◆野崎講師講演風景



◆タイガー魔法瓶(株) 南村講師



◆南村講師講演風景



◆交流会 南村講師を囲んで



◆交流会参加の皆様

